

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。
研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院における神経内分泌腫瘍の治療

2. 研究の対象患者

旭中央病院を受診し神経内分泌腫瘍と診断された患者さんで、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さんを対象とする。

1. 選択基準

1) 神経内分泌腫瘍と診断された患者さん

2) 年齢不問

3) 性別不問

2. 除外基準

1) 研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2013年1月1日～2022年12月31日

4. 研究の概要

消化器に発生する神経内分泌腫瘍(neuroendocrine neoplasms;NEN)は、年間人口10万人に3～5人の新規患者が発生する比較的稀な腫瘍で、その多くは膵臓と消化管に発生する。約100年前に小腸NETに対してカルチノイドという名称が使われて以来、現在に至るまでの長い間、NENは概念が不明瞭なカルチノイドと呼ばれてきた。しかし、NENの臨床病理学的研究が進むにつれてNENの悪性度の多様性が認識され、2000年WHO病理組織学的分類の改訂では、カルチノイドという名称がなくなり、分化度を基軸とした分類が作成された。さらに、2010年版では、臨床的経過と最も相関するとされるKi-67指数と核分裂数という腫瘍細胞の増殖動態を反映する指数を用いたGrade分類に基づく病理組織学的分類が作成された。最新の2017/2019年版ではNENを高分化のNETと低分化のNECに分けることが提起され、現在に至っている。NEN患者の治療においては、この病理組織学的分類に基づいて治療することが極めて重要である。しかし、一般の臨床医は、膵・消化管NEN患者の診療において、最新の知識を知らないままに診察することがあり得る状況にある。

また、機能性NETであるインスリノーマやガストリノーマ、グルカゴノーマ、VIPオーマなどはそれらの分泌するホルモンの身体的影響が強く、患者の社会的活動にも有害な影響を及ぼすばかりか、時には生命の危機をもたらす。しかし、現在においてもNETの特徴的内分泌症状が発現してから正しい診断がなされるまでの期間は5～7年と報告されていて、NENに関する知識の普及が望まれている。

そこで、過去10年間のカルテレビューを行い当院におけるNENを集計し公表することでNENに関する知識の普及を試みる。

5. 研究実施予定期間

2023年11月22日～2024年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、発症部位、ステージ、予後、治療方法(内視鏡的手術、外科的手術、化学療法)

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果は研究対象者(又は代諾者)個々には開示しない。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 消化器内科 志村謙次

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)